

秋が深まり、宝達山も色づく頃となりました。このよき日、石川県立宝達高等学校創立50周年記念式典に、在校生の一人として立ち会えたことに深い喜びを感じています。

半世紀に及ぶ歴史の中で、多くの先輩が卒業され、県内外を問わず、それぞれの分野で活躍されていることは、私達在校生の大きな誇りです。そして、その長い歴史の流れの中に自分たちも今、存在しているのだと思うと、何気なく過ごしている学校での日常が、特別なものに思えてきます。

宝達高校は、「生徒一人一人の個性を伸ばし、明るく、活力のある学校」を教育目標としています。現在、本校の生徒数は120人と、とても少人数の学校です。大規模学校のような賑わいはありませんが、人数が少ない分、生徒一人ひとりがコミュニケーションを取りやすく、先生たちも、私たち生徒と、しっかり向き合ってくださいます。また、文化祭や体育祭などの学校行事では学年問わず、たくさんの人たちが交流して、みんなが楽しむことができます。

歴史を作ってくれたのはたくさんの先輩方ですが、今年の50年目は私たちも歴史づくりに参加し、実際にその一部を作りました。この50周年を一つの節目として、私達生徒一同、先輩方が、ここまで築いてきた伝統を誇りとし、新たな扉を開き、この学び舎を未来へとつないでいくことをここに誓います。

来年は2年生、1年生、そして来年以降に入ってくる新入生の一人ひとりが51年目の歴史を作っていきます。先輩への感謝を忘れずに、この素晴らしい学校、先輩、仲間を誇りに思い、この学校をさらに良くしていきましょう。

最後になりましたが、本校を温かく見守り、その発展にご協力くださいました、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様にあらためて深く感謝申し上げます、生徒代表の挨拶といたします。